



# 秋田県立比内支援学校 居住地校交流だより



令和元年10月11日 前期号

障害のある子どもたちと障害のない子どもたちが共に活動する機会を通して、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶことができるように、国、県共に交流及び共同学習を推進しています。

本校でも児童生徒が、自分の住んでいる地区の学校に行き、学習する「居住地校交流」を行っています。前期は、小学部9名、中学部12名の児童・生徒がそれぞれの居住地校を訪問して交流を行いました。たくさんの人と出会い、ふれ合い、様々な経験をし、地域に多くの友達ができるように丁寧に進めています。前期に実施した交流の様子を紹介します。

## 城西小学校 2年

音楽に合わせてタッチしながら友達に自己紹介をしたり、ボーリングやさかなつりなどのゲームを楽しみました。玄関で児童が優しく迎えてくれ、安心して参加できました。

## 桂城小学校 2年 4年

パンケーキを一緒に作りました。友達のトッピングを見て「かわいい」「おいしそう」など話しながら楽しむことができました。感想発表でも自分から手を挙げていました。

## 川口小学校 5年

水泳の授業に参加しました。初めての交流で緊張していましたが、友達が声を掛けてくれ、自由時間に追いかけっこをして遊ぶほど仲良くなれました。

## 第一中学校 1年

浴衣の着付け体験の授業に参加しました。友達の帯を持って手伝ったり浴衣を着てポーズをとったり楽しんで参加できました。他校から進学した生徒とも仲良くなれました。

## 東中学校 1年 2年

秋をテーマとしたたくさんの種類のイラストから自分の好きなものを選んで、貼る場所を考えながら画用紙に貼りました。生徒が好きな制作活動で、積極的に活動できました。

## 北陽中学校 2年

体育の授業に参加しました。陸上のハードルに挑戦し、たくさん体を動かすことができました。昨年度も交流しており、友達と仲良く楽しむことができました。



## 【保護者の感想】

転校し、居住地の友達との交流がなくなるのはもったいないなと思っていました。学校が変わっても顔を合わせてみれば以前と変わらず接してくれるのでとても安心しました。本人も「ぼくのこと忘れてなかった」ととてもうれしそうでした。

最初は緊張していたのか、下を向いて歩いていましたが、小学校のお友達と慣れたようで、とてもきらきらした笑顔で見えてとても良かったと思います。また参加できたらいいなと思います。

友達が受け入れてくれないのでは、、、と本当は不安でした。でも交流させていただいてその不安はなくなりました。周りも本人も成長していて、また参加させたいと思えるようになりました。

